

# CT 撮影



CT専用ビューワー QR Viewer-Gold

新開発

## 独自の再構成法で際立つ、高画質

高感度・高解像度センサの能力を最大限に発揮させ、その性能を余すことなく表現する新開発の再構成技術と360度回転撮影(フルスキャン)により、様々なアーチファクトを抑えつつ歯や骨の形状を滑らかで高品質に表現。

【線形性の高いCT値出力】

専用ファントムで各FOVサイズに適正なCT値を補正。正確な顎骨形状の情報はもちろん、良好なCT値表示により軟硬組織の定量的な診療をサポートします。

一般的なCT  
FOV Φ80mm の場合



8番埋伏歯  
根尖が領域外で見えない

QRmaster-H/Revo  
FOV Φ95mm の場合



8番埋伏歯  
根尖まで見える

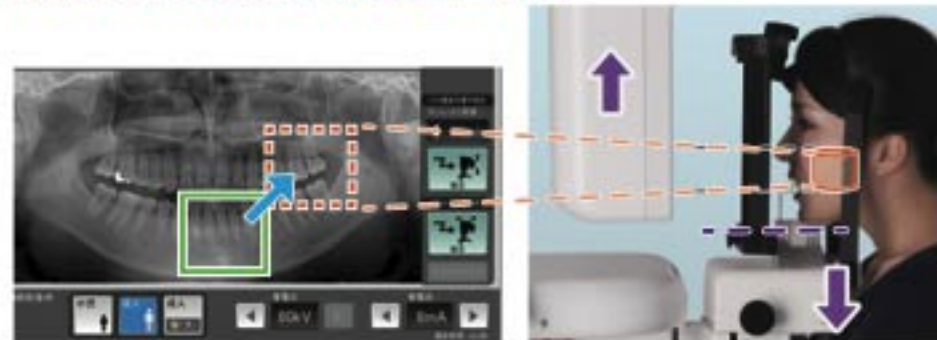
## Φ95mmの幅広い撮影エリア(FOV)

フルスキャン撮影法を用いた一般的なCT機の多くは径80mmが限界のため、8番埋伏歯の根を含む歯列全体を1回で撮影することは出来ず、オフセットスキャン撮影を余儀なくされていました。Revoは、フルスキャンでありながら径95mmの広範囲撮影を実現。高画質を保ったまま、1回の撮影で水平埋伏歯の根尖部を含む歯列全体をしっかりと捕えることができます。

※オフセットスキャン：小さなセンサで広範囲の撮影を可能にする一方、左右片側のみ構成データのためアーチファクトの影響を受けやすい。  
※フルスキャン：広範囲撮影には大きなセンサが必要。左右対称的にデータ取得が出来るため、アーチファクトを軽減した安定的な高画質が得られる。

◆2種類のスカウト撮影 **パノラマスカウト** **2方向スカウト**

◆撮影位置の自動設定 (シンクロ昇降)



PC画面上でエリア指定するだけで、装置が適正位置に自動で移動

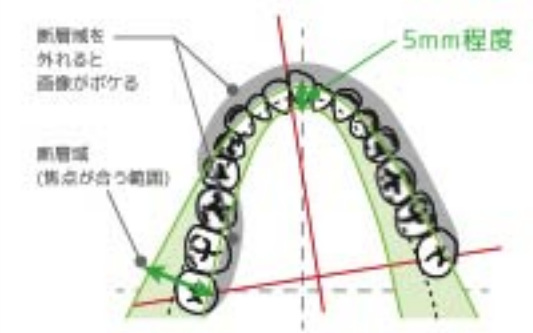
## 初めてでも、撮りたい場所を逃さない

3次元で小視野FOVに絞って部分撮影を行う場合、位置合わせに熟練された高い技術が要求されます。Revoは、位置付けを簡単でより精度高く実現するため、2種のスカウト機能を標準装備。CT撮影前に被ばく量の少ない単純撮影(2D)を実施。取得した2次元レントゲン画像(パノラマまたは正面・側面)から関心領域をPC画面上で指定するだけで、回転アームとチンレストが自動で適正位置に移動。初めてでも、撮影エリアを逃すことなく簡単に撮影可能です。

# パノラマ 撮影

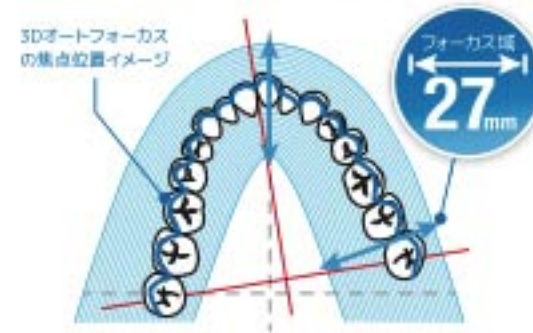


従来のパノラマ撮影



断層域が狭く位置付けが困難

世界初の「3Dオートフォーカス技術」



5倍以上の広い断層域で位置付けが簡単

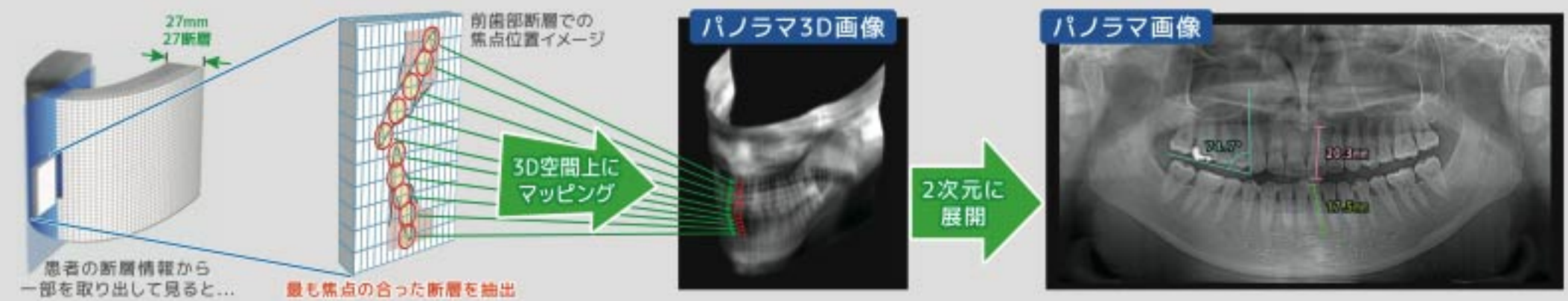
世界初

## 幅広いフォーカス域、しかもオートフォーカス

従来のパノラマ機のフォーカス域は非常に狭く(前歯部で5mm程度)、歯列の形状や位置付けによっては画像が不鮮明に撮影されてしまう事がありました。Revoのフォーカスは全域で27mmと広範囲なため、患者ごとに違う歯列形状やサイズに影響を受けることなく、誰にでも簡単に前歯~臼歯部まですべての歯列にフォーカスが合ったパノラマ画像の取得が可能です。

【世界初! 3Dオートフォーカスの仕組み】

1回のパノラマ撮影から断層の異なる27枚のパノラマ画像を取得。さらに1枚ごとに小さなセル状に画像を切り分け、最もフォーカスの合った画像のみを抽出し3D空間上にマッピングした上で、通常のパノラマ画像(2D)に展開します。全歯列にフォーカスの合った画像取得はもちろん、拡大率の影響が少ないため、患者の実体に極めて近い高精度な距離、角度計測を実現します。

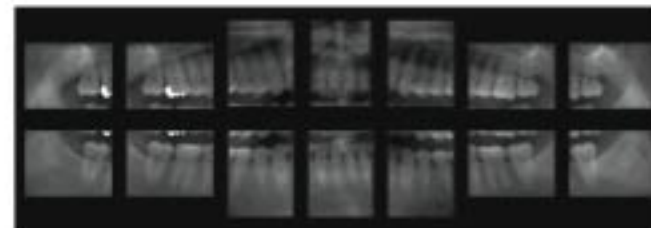


## パノラマ画像からデンタル画像を作成

3Dオートフォーカスによって生成された拡大率の少ないパノラマ画像から10枚法、14枚法のデンタル画像に切り出しが可能。精度の高いデンタル画像だから、診療報酬区分にも適用しています。



取得した  
パノラマ撮影画像



デンタル画像への  
切り出し